日本獣医生命科学大学
同窓会報
第54号
2019年1月15日発行
日本獣医生命科学大学
同窓会
東京都武蔵野市
境南町1-7-1
発行者　中條　眞二郎
直通電話・FAX
0422-33-2916
E-mail dosokai@nvlu.ac.jp
URL http://nvlu-dosokai.academic-sol.com/

新春のお喜びを申し上げます

日本獣医生命科学大学同窓会会長
中條　眞二郎

年頭に当り、会員皆様の幸多い年となりますようご祈念申し上げます。平素より同窓会の運営につきまして、皆様のご理解とご協力を賜りまして厚く御礼を申し上げます。

今年は、平成が31年で幕を閉じる最後となりました。昭和の半分の年数でしたが、昭和も第二次大戦後戦勝国の如何で昭和元号も短期で幕を閉ざしていたかも知れません。敗戦後、日本を復興させた原動力は、アジアで初めて開催された東京オリンピックによる経済効果が、経済大国と言われる今日の日本に繋がったと云われています。中ソとアメリカの政治・経済摩擦は直ちに日本も巻き込み、影響するところ大であります。現代では世界を見据えた判断力を持たなければ、社会情勢に乗り遅れると思われます。

母校の平成時代を振り返りますと、国際化が謳われ、１９８４年から獣医一貫6年制になりましたが、国公私立いずれの大学も獣医学の設置基準に見合う教育研究施設に達せず現在でも求められています。当時の母校は劣悪な木造建築物で施設の不備は免れませんでした。平成になって母校の移転問題も消え、武蔵境校舎の整備を図ることが進められ、世間並の近代的な大学に変貌することが出来ました。母校の現状は、２０１４年3月7階建てE棟が新築され、応用生命学部・獣医保健看護学科と日本医科大学の一年生が1年間共存する教育環境となりました。両大学の教育のレベルアップに繋がるのではないかと期待しております。

平成の30年間は、同窓会も多くの問題に取り組みました。母校の二学部四学科の変革により学生数の増員の結果、飛躍的に同窓会会員数増となりました。獣医保健看護学科以外の三学科の会員数は、各学科約数千名に均衡して参りました。動物科学科・食品科学科の両学科の会員が同窓会事業に積極的な参加を頂くと強力な同窓会になること間違いありません。１万数千名を超える会員とのコミュニケーションを密にする手段は、最新で大量の情報を早く会員に届けることであります。年1回送付していた同窓会会報を2回に増やし、カラー印刷とし見やすくしました。また、学校法人日本医科大学の広報室と連携を図り、学校法人日本医科大学広報を一緒に試行的に配布を行っています。会員数が多くなれば早急に連絡を図るのが難しくなります。そこで、同窓会もホームページを立ち上げております。これにより全国各地の会員にいち早く情報が伝えられます。今後ますます利用して頂きたいと思っています。事務についても、会員の大量の情報をパソコンに保存し、事務作業の効率を図り、会員に直ぐに対処できるサービスを心がけています。事務方に大変な負担を強いておりますが担当者に感謝しています。

同窓会の日常的事業は、会員に情報を配信することと会員の名簿管理が最重要なことであります。同窓会名簿は、情報が悪用されないよう同窓会独自の個人情報保護法が制定されています。名簿作成に慎重になり過ぎますと、卒業期と名前を列挙した利用価値の無い名簿になってしまいます。やはり役立つ名簿を考え、従来の体裁に近い住所を記載した名簿作成でなければなりません。２０１０年、２０１４年は、住所登録されている全ての会員の皆様に配布致しましたので喜んで頂いたと確信しています。今回の名簿も、全会員に配布するのが理想ですが、経済状況や個人情報保護の事情を踏まえ熟考検討し、会費納入会員に無料配布することにしました。会費納入を失念し名簿申し込み案内が届かなかった方、名簿を必要とされる会員は会費納入後に事務局まで申し出てください。

母校は、２０２１年に開学から１４０周年を迎えます。二回目となる東京オリンピック開催の翌年になります。記念式典・祝賀会の開催は、いつの時代も母校と同窓会協賛で開催されてきました。大学10期の同窓生から聞くところでは、80周年式典を目白の椿山荘で学生と共に祝ったと聞いております。以降10年毎に開催され２０１１年には、１３０周年を常陸宮殿下と妃殿下にご来臨賜り盛会裡に開催したことは、記憶に新しいところであります。１４０周年は、学校法人日本医科大学、母校と歩調を合わせ、会員の皆様と共にお祝する計画に取り組むことにしました。記念式典・祝賀会は、四学科の多くの会員参加のもとに開催する予定ですから是非参加をお待ちしています。

この一年会長として他大学の同窓会も参考にし、良い方策があれば採り入れ、常に何かできることはないか、時代に即しているか等を念頭に役員一同と前向の会運営を志して参りましたが、会員皆様はどのように感じているでしょうか。

新年を迎え会員の利になる事業推進を図るよう心がけ、母校と同窓会がさらに発展することを他力本願でなく、自力による素晴らしい元号初年としたいと願っています。

学校法人日本医科大学広報を同封します。

学校法人日本医科大学広報「フィールドから学べ」特集富士アニマルファームを学校法人理事長のご好意により同封致します。最新の状況をご一読下さい。

2018年度日本獣医生命科学大学同窓会代議員会を開催

本年度の代議員会が、2018年7月21日（土）午後1時より母校E棟第111講義室にて開催された。当日は代議員会に先立ち、午前10時より母校第一会議室において理事30名、監事2名が出席し理事・監事会が開催され、議案書を確認し、理事の承認を得た。

代議員会の出席者は、中條会長、池本顧問、副会長3名、理事30名、監事2名、代議員63名の計100名と支部代表6名の出席のもと吉田事務局理事の司会により開会宣言がされた。

中條　眞二郎会長挨拶

2021年に母校140周年を迎えますが、学校法人日本医科大学坂本理事長、阿久澤学長と相談しながら準備を進めて参ります。

この4月から新会則が施行されました。4学科全体の同窓会、女性参加の運営を目指して改正しました。改正にお力添えいただいた皆様に感謝致します。

学校法人日本医科大学　坂本　篤裕理事長挨拶

昨年から法人体勢が変わり、皆様にご心配をかけた財政面は着実に回復しています。大学の伝統と歴史を守り、更なる飛躍のため、法人として財政面での投資を行っていきます。

今年の1月から法人誌を新しく「One health」として皆さまにお届けしました。「One health one medicine」、そして「One health one world」という更に大きな極みを目指し、両大学が世界の健康、地球の健康について邁進していくことを目指し、両大学が切磋琢磨し、協力しながら一法人の中で実行いただければと思います。そして、阿久澤学長をはじめ大学関係の皆様に中長期計画を出していただきました。それを履行するために法人としてバックアップをしていきたいと思います。

法人としてお願いしたいことは、獣医学部の学生定員増は難しく、定員超過は大きな問題になります。すなわち学納金と補助金のみでは経営が困難となりますので、診療にもっと力を入れるようお願い致しました。応用生命科学部に関しては、学生数を維持しレベル向上のために学部学科の再編や資格取得のカリキュラム改正も視野に入れて2～3年で形作るようお願いした。それ以上に、まずは阿久澤学長の立案計画を法人として支えたいと考えています。そのためには、同窓会の皆様の直接的間接的なご支援が重要になりますのでお願い致します。

日本獣医生命科学大学　阿久澤　良造学長

新年度は、授業時間が90分から100分に、15回の講義が14回となり、夏季休講が一週早くなりました。法人にICTの推進をしていただき、施設も整ってきております。それにより大学ガバナンスの充実、強化、学生サービスの向上も充実してきています。

卒業生の進路状況は、進学10％で、就職率は99・4％となっています。獣医師国家試験は2年連続で私学トップの合格率を達成しました。動物医療センターは、坂本理事長の助言や附属病院長の協力もあり労働・環境整備が改善がされました。また、リニアックの再稼働も12月に決まっております。人工心肺装置の導入に伴う心臓外科手術を今年度中にスタートする予定です。今年度6月末より土曜日診療も開始しました。同窓会との連携動物病院協定をさらに有効利用できる体制を取って参ります。大動物診療の開始に向けても準備を進めているところであります。

中長期計画は150周年を迎える2031年に向けて「ニチジュウ未来図」と名付けた計画です。様々なものをつなぐ拠点を目指しconnect with the futureをミッションとして掲げています。今後の改革の力となり、研究教育機関として健全に発展するためのロードマップとなります。各学科をつなぐ拠点として発展させるための年次計画を、共有体制のもとに実施しています。法人はOne health one worldに貢献することを掲げており、本学も同一目標に向う事を明確にしています。本学における研究ブランドとしてone healthに貢献する「生命・食・環境」をつなぐ研究拠点形成、すなわち人と動物が安心できる暮らしを目指す事業として打ち立て、文部科学省に新事業として申請しております。中長期計画はスタートしたばかりですが、法人全体の改革・整備計画が急速に進むことが予見され、計画を多方面から検証しつつ、着実に成果を出し、確実に前進するように力を尽くします。150周年をゴールとしていますが、2021年の140周年を第1期とし、実施状況の評価・見直しを行い、次のアクションプランへの策定へと進めます。同窓生の皆様にはお力添えを頂き、未来の学生へ応援いただけるようお願い致します。

議長選出　司会者より代議員から立候補者を募ったが該当者がいないため、理事・監事会で推薦された候補者を中條会長が提案した。議長に京都府支部　清水　弘司代議員（大学14）、副議長に長野県支部　土屋　照代代議員（大学20）を提案し、拍手をもって承認された。

事務局より、書記に大野木詩穂氏（母校獣医保健看護学科4年）、議事録署名人に大学支部の小田民美代議員と塩川舞代議員が提案され、拍手をもって承認された。

議事開始に先立ち本日の出席者数が報告され、代議員会が成立したことが確認された。

議長団が着席し、議事が開始された。

第1号議案　2017年度事業報告

総務担当荻野理事より報告。

2017年度代議員会において、永年の懸案事項でありました本会会則改正の承認を頂いた。新会則を来年度から混乱なく施行する

ため、会報52号と同窓会ホームページにて同窓会役員を始め全会員への周知徹底に努めてまいりました。

動物科学科創立70周年、食品科学科創立50周年の記念式典を２０１７年11月11日に母校にて盛大に開催いたしました。

実施事業

1、日本獣医生命科学大学同窓会代議員会
　２０１７年７月29日（土）午後１時より
　母校Ｅ棟１１１講義室において

2、常務理事会、理事会、監査会、理事・監査会他
　(1)常務理事会
　(2)臨時理事会
　(3)業務・会計監査会
　(4)２０１７年度理事・監事会
　(5)同窓会会則改正委員会
　(6)会報編集会議
　(7)護国寺定例挨拶訪問

3、会報発行
　会報51号発行：１０、５７３名へ送付
　会報52号発行：一括送付28支部５、９２０名、個人送付４、５２１名へ送付

4、主な行事への参加
　(1)母校入学式
　(2)大学祭期間に同窓会ブース開設
　(3)母校教職員との懇親会
　(4)母校学位記授与式
　(5)動物科学科創立70周年、食品科学科創立50周年記念式典
　(6)２０１７年度日本獣医師会獣医学術学会年次大会（大分県支部）へ支援
　(7)２０１７年度支部会・連合会への派遣

5、その他
　(1)２０１７年度梅野信吉賞受賞者に副賞を贈呈
　(2)２０１７年度退職者へ記念品贈呈

6、準会員への事業
　(1)入学祝い
　(2)卒業祝い
　(3)同窓会長賞（各学科卒業生１名に賞状と記念品贈呈）
　(4)大学祭（医獣祭）へ支援
　(5)就職活動支援

第2号議案２０１７年度収支決算

寺田経理担当理事より報告

２０１７年度一般会計収支計算書(別表参照)
動物科学科創立70周年、食品科学科創立50周年記念式典に係る経費が参加者の大幅増に伴い50万円の追加支出があった。

２０１７年度特別会計収支計算書(別表参照)
正味財産増減計算書
貸借対照表総括表
財産目録（別表参照）
財務諸表に対する注記
会費納入状況（２０１８年３月31日現在）
２０１７年度連携病院収支計算書(別表参照)

監査報告（別表参照）

石崎監事より監査報告があった。

第１号及び第２号議案について質疑はなく拍手により承認された。

第3号議案　２０１８年度事業計画

荻野総務理事より説明

２０１８年は、同窓会新会則・規程によって業務を遂行することになりますが、移行措置も考慮した運営になると思われます。同窓会会則・規程小冊子を支部長・代議員宛にお届けした。本年は4年毎の会員名簿発行の年度になりますが、それに伴う個人情報の流出を防止する体制を模索しています。

事業計画

1、日本獣医生命科学大学同窓会代議員会
　２０１８年７月21日（土）午後１時より

2、２０１８年度理事・監事会
　２０１８年７月21日（土）午前10時より

3、役員会及び各種委員会の開催

4、各種行事への参加

5、支部会強化活動
　(1)支部総会への役員派遣
　(2)その他

6、同窓会会報発行：会報53号、54号の発行

7、同窓会会員名簿発行：今年度は会員名簿の発行年度であるが、個人情報保護の観点から、今回の名簿は氏名（旧姓）、住所のみを記載する。名簿情報の流出防止のため、会費納入正会員の受領希望者のみに無料送付する。

8、創立１４０周年記念誌編集作業

9、連携動物病院の広報及び申請受付

10、母校への支援
　(1)梅野信吉賞受賞者への協賛
　(2)創立１４０周年記念事業への寄付活動

11、準会員（学生）への事業
　(1)入学記念品贈呈
　(2)卒業記念品贈呈
　(3)同窓会長賞の表彰・記念品の贈呈
　(4)大学祭（医獣祭）へ支援
　(5)就職活動支援
　(6)奨学生候補者の選考

12、２０１８年度退職者へ記念品贈呈

13、母校主催、支部主催の学会・講演会などへ支援

第4号議案２０１８年度収支予算

寺田経理理事より説明

２０１８年度一般会計収支計算書(別表参照)
２０１８年度特別会計収支計算書(別表参照)
２０１８年度連携病院収支計算書(別表参照)
第３号、第４号議案は拍手で承認された。

第5号議案２０１９年度同窓会理事立候補者推薦理事

会則22条、理事及び幹事の立候補に関する規定第３条による推薦理事を各ブロックより選出することを確認。確認事項として承認は行わない。

第6号議案名誉会員の推薦

中條眞二郎会長より、名誉会員に池本卯典前学長を推薦し、拍手をもって承認された。

池本名誉学長には１４０周年記念誌の編纂にも携わっていただいている。

平成29年度監査報告書

平成29年度同窓会業務並びに会計の収支決算を
平成30年5月12日母校において厳正に監査した結果
証拠書類等、正しく執行されていることを認めます。

平成30年5月12日

監事　石﨑　孝久　印
監事　水谷　渉　印
監事　桑本　卓夫　印

第 2 号議案　2017年度収支決算

2017年度一般会計収支計算書

2017年 4 月 1 日から2018年 3 月31日まで

収入の部　　(単位：円)

科目	予算額	決算額	差異	摘要
1 同窓会費収入	6,750,000	5,826,000	924,000	1,942口（本年度1,530口、16年度369口、18年度43口）
2 入会金収入	20,850,000	20,850,000	0	50,000円x417名
3 諸収入	20,054,695	20,149,885	△ 95,190	
受取利息	4,695	2,710	1,985	普通預金利息174円、特会利息2,536円
寄付金	40,000	130,000	△ 90,000	代議員会来賓及び新年会の祝金
記念事業特別積立金取崩	20,000,000	20,000,000	0	
雑収入	10,000	17,175	△ 7,175	会員からの寄付など
当期収入合計(A)	47,654,695	46,825,885	828,810	
前期繰越金	9,432,218	9,432,218	0	
収入合計(B)	57,086,913	56,258,103	828,810	

支出の部

科目	予算額	決算額	差異	摘要
1事業費	34,350,000	32,715,617	1,634,383	
会報発行費	3,500,000	4,228,564	△ 728,564	会報印刷51・52号268万円、記念誌増刷83万、発送71万円等
事業推進費	1,000,000	750,000	250,000	畜友会25万円、動物・食品記念式典50万円
支部助成費	800,000	715,700	84,300	45支部分1,719口51.5万円、獣医師会大分年次大会20万円
学生会員援助費	3,800,000	3,389,852	410,148	入学祝品108万円、卒業祝品143万円、医獣祭72万円、会長賞12.7万円等
同窓会会則発行費	1,000,000	200,000	800,000	会則・規約改定費
学術振興費	1,000,000	300,000	700,000	梅野信吉賞30万円
就職対策費	200,000	90,000	110,000	OB・OG訪問会謝礼金
渉外費	250,000	226,000	24,000	母校教職員と交流17.6万円、日医大合同懇親会５万円
慶弔費	300,000	315,501	△ 15,501	退職教職員７名祝品9.9万円、弔事２件5.3万円、池本前学長祝賀10.9万円、護国寺お布施５万円等
動物・食品創立記念事業	2,500,000	2,500,000	0	動物創立70周年（1947）と食品50周年（1967）
熊本・大分災害支援金	0	0	0	
創立140周年関連事業	20,000,000	20,000,000	0	創立130周年事業に寄付
2会議費	3,700,000	3,549,961	150,039	
代議員会議費	3,000,000	2,683,921	316,079	代議員86名旅費等
役員会議費	700,000	866,040	△ 166,040	役員旅費等
3事務費	8,300,000	7,530,564	769,436	
事務手当	3,000,000	2,494,509	505,491	事務手当、アルバイト料、通勤費等
旅費	1,000,000	856,260	143,740	21支部派遣
印刷費	200,000	159,063	40,937	封筒、コピー代、振替用紙等
通信費	200,000	180,799	19,201	郵便料、電話代等
振替・振込手数料費	100,000	67,622	32,378	郵便振替、銀行振込等
器具備品費	100,000	191,500	△ 91,500	大判プリンタ14.5万円と設置料
ホームページ管理運営費	200,000	75,600	124,400	ホームページ管理料等
同窓会室改修費	3,250,000	3,250,000	0	大工工事14.2万円、水道工事；39.4万円、塗装工事;51.4万円、電気工事;120.9万円、ロールスクリーン設置工事;14.2万円、サッシ工事;27.4万円、床面工事;28.8万円、消費税23.7万円、電話・LAN配線整備作業；５万円
消耗品費	150,000	163,116	△ 13,116	事務用品類等
雑費	100,000	92,095	7,905	残高証明、お茶等
4特別会計繰入金	9,829,815	10,262,535	△ 432,720	
名簿発行積立引当金	2,500,000	2,500,000	0	
記念事業特別積立引当金	7,000,000	7,000,000	0	
奨学基金引当金	10,000	10,000	0	
減価償却引当金	319,815	752,535	△ 432,720	
5予備費	907,098	0	907,098	
当期支出合計(C)	57,086,913	54,058,677	3,028,236	
当期収支差額(A)-(C)	△ 9,432,218	△ 7,232,792	△ 2,199,426	
次期繰越収支差額(B)-(C)	0	2,199,426	△ 2,199,426	

2017年度特別会計収支計算書

2017年 4 月 1 日から2018年 3 月31日まで

(収入の部)　　(単位：円)

科目	予算額	決算額	差異	摘要
1．繰入金収入	9,829,815	10,262,535	△ 432,720	
2．雑収入	5,771	2,536	3,235	
当期収入合計（A）	9,835,586	10,265,071	△ 429,485	
前期繰越額	74,223,484	74,223,484	0	
収入合計（B）	84,059,070	84,488,555	△ 429,485	

(積立金別の収入明細)　　(単位：円)

科目	名簿発行積立	記念事業特別積立	奨学基金	減価償却
1．繰入金収入	2,500,000	7,000,000	10,000	752,535
2．雑収入	41	2,435	60	0
当期収入合計（A）	2,500,041	7,002,435	10,060	752,535
前期繰越額	5,010,000	56,446,075	7,128,956	5,638,453
収入合計（B）	7,510,041	63,448,510	7,139,016	6,390,988

(支出の部)　　(単位：円)

科目	予算額	決算額	差異	摘要
1．繰入金取崩	20,000,000	20,000,000	0	
2．その他支出	5,771	2,536	3,235	
当期支出合計（C）	20,005,771	20,002,536	3,235	
当期収支差額(A)-(C)	△ 10,170,185	△ 9,737,465	△ 432,720	
次期繰越収支差額(B)-(C)	64,053,299	64,486,019	△ 432,720	

(積立金別の支出明細)　　(単位：円)

科目	名簿発行積立	記念事業特別積立	奨学基金	減価償却
1．繰入金取崩	0	20,000,000	0	0
2．その他支出	41	2,435	60	0
当期支出合計（C）	41	20,002,435	60	0
当期収支差額(A)-(C)	2,500,000	△ 13,000,000	10,000	752,535
次期繰越収支差額(B)-(C)	7,510,000	43,446,075	7,138,956	6,390,988

財産目録

2018年 3 月31日

(単位：円)

科目	金額		
Ⅰ．資産の部			
1．流動資産			
（1）現金	50,000		
（2）普通預金	16,268,392		
①三菱東京UFJ銀行	1,619,436		
②三菱東京UFJ銀行	7,510,000		
③三菱東京UFJ銀行	7,138,956		
④三菱東京UFJ銀行			
（3）定期預金	43,446,075		
①三菱東京UFJ銀行	43,446,075		
（4）郵便振替	3,742,579		
（5）未収金	0		
流動資産合計		63,507,046	
2．固定資産			
（1）土地建物	0		
（2）その他の固定資産	7,271,880		
（什器備品及びパソコンなど）			
固定資産合計		7,271,880	
資産合計			70,778,926
Ⅱ．負債の部			
1．流動負債			
（1）未払金	0		
（2）前受金	0		
流動資産合計		0	
2．固定負債			
（1）名簿発行引当金	7,510,000		
（2）記念事業特別積立引当金	43,446,075		
（3）奨学基金引当金	7,138,956		
（4）減価償却引当金	6,390,988		
固定資産合計		64,486,019	
負債合計			64,486,019
正味財産			6,292,907

第 4 号議案　2018年度収支予算

2018年度一般会計収支計算書

2018年 4 月 1 日から2019年 3 月31日まで

収入の部　（単位：円）

科　目	本年度予算額	前年度予算額	増　減	摘　要
1 同窓会費収入	6,450,000	6,750,000	△ 300,000	本年度1,900口、過年度250口
2 入会金　収入	19,100,000	20,850,000	△ 1,750,000	50,000円×382名
3 諸　収　入	113,400	20,054,695	△ 19,941,295	
受取利息	3,400	4,695	△ 1,295	
寄付金	100,000	40,000	60,000	
記念事業特別積立金取崩	0	20,000,000	△ 20,000,000	
雑　収　入	10,000	10,000	0	
当期収入合計（A）	25,663,400	47,654,695	△ 21,991,295	
前期繰越金	2,199,426	9,432,218	△ 7,232,792	
収入合計（B）	27,862,826	57,086,913	△ 29,224,087	

支出の部

科　目	本年度予算額	前年度予算額	増　減	摘　要
1 事　業　費	13,250,000	34,350,000	△ 21,100,000	
会報発行費	3,500,000	3,500,000	0	会報印刷、同窓会ニュース、発送等
事業推進費	800,000	1,000,000	△ 200,000	各学科への援助
支部助成費	800,000	800,000	0	45支部分
学生会員援助費	3,600,000	3,800,000	△ 200,000	入学祝品140万円、卒業祝品140万円、大学祭70万円、会長賞10万円
同窓会会則発行費	3,000,000	1,000,000	2,000,000	印刷、発送等
学術振興費	800,000	1,000,000	△ 200,000	梅野賞30万円
就職対策費	200,000	200,000	0	学生会員就職対策
渉　外　費	250,000	250,000	0	法人・母校等との懇親、渉外
慶　弔　費	300,000	300,000	0	本学教職員祝品、弔事、護国寺等
動物・食品創立記念事業	0	2,500,000	△ 2,500,000	動物：S22年（1947）、食品：S42年（1967）
創立140周年関連事業費	0	20,000,000	△ 20,000,000	創立140周年記念事業
2 会　議　費	3,800,000	3,700,000	100,000	
代議員会議費	3,000,000	3,000,000	0	代議員旅費等
役員会議費	800,000	700,000	100,000	役員旅費等
3 事　務　費	4,800,000	8,300,000	△ 3,500,000	
事務手当	2,800,000	3,000,000	△ 200,000	事務手当、アルバイト料、通勤費等
旅　費	1,000,000	1,000,000	0	支部派遣
印刷費	200,000	200,000	0	封筒、コピー代、振替用紙等
通信費	250,000	200,000	50,000	郵便料、電話代等
振替・振込手数料費	100,000	100,000	0	郵便振替、銀行振込等
器具備品費	100,000	100,000	0	事務機器等
ホームページ管理運営費	100,000	200,000	△ 100,000	ホームページ管理料等
同窓会室改修費	0	3,250,000	△ 3,250,000	
消耗品費	150,000	150,000	0	事務用品類等
雑　費	100,000	100,000	0	残高証明等
4 特別会計繰入金	5,767,504	9,829,815	△ 4,062,311	
名簿発行引当金	1,000,000	2,500,000	△ 1,500,000	
記念事業特別積立引当金	1,003,925	7,000,000	△ 5,996,075	
奨学基金引当金	11,044	10,000	1,044	
創立140周年記念積立引当金	3,000,000	0	3,000,000	
減価償却引当金	752,535	319,815	432,720	
5 予　備　費	245,322	907,098	△ 661,776	
当期支出合計（C）	27,862,826	57,086,913	△ 29,224,087	
当期収支差額（A）-（C）	△ 2,199,426	△ 9,432,218	7,232,792	
次期繰越収支差額（B）-（C）	0	0	0	

2018年度特別会計収支計算書

2018年 4 月 1 日から2019年 3 月31日まで

（収入の部）　（単位：円）

科　目	本年度予算額	前年度予算額	増　減	摘　要
1．繰入金収入	5,767,504	9,829,815	△ 4,062,311	
2．雑収入	4,003	5,771	△ 1,768	
当期収入合計（A）	5,771,507	9,835,586	△ 4,064,079	
前期繰越額	64,214,566	74,223,484	△ 10,008,918	
収入合計（B）	69,986,073	84,059,070	△ 14,072,997	

（積立金別の収入明細）　（単位：円）

科　目	名簿発行積立	記念事業特別積立	奨学基金	創立140周年積立	減価償却
1．繰入金収入	1,000,000	1,003,925	11,044	3,000,000	752,535
2．雑収入	300	3,400	300	3	0
当期収入合計（A）	1,000,300	1,007,325	11,344	3,000,003	752,535
前期繰越額	7,510,000	43,446,075	7,138,956	0	6,119,535
収入合計（B）	8,510,300	44,453,400	7,150,300	3,000,003	6,872,070

（支出の部）　（単位：円）

科　目	本年度予算額	前年度予算額	増　減	摘　要
1．繰入金取崩	0	20,000,000	△ 2,000,000	
2．その他支出	4,003	5,771	△ 1,768	
当期支出合計（C）	4,003	20,005,771	△ 20,001,768	
当期収支差額（A）-（C）	5,767,504	△ 10,170,185	15,937,689	
次期繰越収支差額（B）-（C）	69,982,070	64,053,299	5,928,771	

（積立金別の支出明細）　（単位：円）

科　目	名簿発行積立	記念事業特別積立	奨学基金	創立140周年積立	減価償却
1．繰入金取崩	0	0	0		0
2．その他支出	300	3,400	300	3	0
当期支出合計（C）	300	3,400	300	3	0
当期収支差額（A）-（C）	1,000,000	1,003,925	11,044	3,000,000	752,535
次期繰越収支差額（B）-（C）	8,510,000	44,450,000	7,150,000	3,000,000	6,872,070

2018年度連携病院収支計算書

2018年 4 月 1 日～2019年 3 月31日

（収入の部）　（単位：円）

科　目	予　算　額	決　算　額	差　異	摘　要
前年度繰越金	99,036	99,036	0	
本年度納入金	9,000	0	0	3,000円×３名
利　息				
雑　収　入				
合　計	108,036	99,036	9,000	

（支出の部）　（単位：円）

科　目	予　算　額	決　算　額	差　異	摘　要
事務費	0	0	0	
事務手当				
通信費				
雑費				
事業費	0	0	0	
広報費				
予備費	0	0	0	
合　計	0	0	0	

その他

会則・規程の2箇所の誤印刷を訂正

○会則第7章理事会の（召集）29条の2　各理事→副会長に訂正

○理事及び監事の立候補に関する規程別表の所属ブロックの九州・沖縄に大分県を追加。修正は賛成多数で了解された。

2017年度連携病院収支計算書

2017年4月1日～2018年3月31日

（収入の部）　（単位：円）

科　目	予算額	決算額	差　異	摘　要
本年度納入金	9,000	0	9,000	3,000円 x 3名
利　息	0	0	0	
雑　収　入				
合　計	9,000	0	9,000	

（支出の部）　（単位：円）

科　目	予算額	決算額	差　異	摘　要
事務費	0	0	0	
事務手当				
通信費				
雑費				
事業費	0	0	0	
広報費				
予備費	0	0		
合　計	0	0	0	
差引繰越予定	9,000	0	9,000	

財産目録

科　目	連携病院会計		計
資産の部			
1．流動資産	99,036		99,036
1）現　金	0		0
2）普通預金	99,036		99,036
3）利　息	0		0
4）未収入金	0		0
2．固定資産	0		0
資産合計	99,036		99,036
負債の部			
1．流動負債	0		0
1）未払金	0		0
2）預り金	0		0
2．固定負債	0		0
1）連携病院事業積立金	0		0
負債合計	0		0
差引正味財産合計	99,036		99,036

閉会

議長団が解散し、吉田事務局長の閉会宣言により閉会した。

代議員会終了後、母校〝むらさき〟で懇親会が開催された。多数の理事、代議員が参加され年一回の交流の場となった。

事務局だより

業務時間は祝祭日を除く月・火・木・金曜日の午前11時から午後4時となっております。事務局の勤務は一人体制で、業務で外出する場合がありますのでご了承下さい。

住所変更の届け出

住所変更は本人届け出を原則としております。会報が宛先不明で返却された場合、住所不明扱いになります。住所変更届け出用紙は同窓会ホームページから印刷してください。

支部総会へ同窓会本部からの派遣依頼について

派遣人選は依頼順に事務局で調整しております。支部から派遣希望者へ直接依頼した場合は同窓会からの経費が支給されません。

同窓会会費納入のお願い

本会の事業は会員の納入会費（年間3，000円）によって運営されております。会費は原則として支部一括納入となっております。諸事情によって一括徴収できない支部があります。一括納入支部の会員には会費払込取扱票を同封しておりません。支部からの連絡に従って納入願います。一括徴収が不可能な支部の会員には個人払込取扱票を同封しております、郵便局から振込みをお願いします。払込取扱票には所属、氏名、住所をお忘れなく記入願います。個人払込取扱票が必要な方は同窓会事務局へ連絡願います。

母校附属動物病院との連携動物病院の申請

手続き窓口は同窓会事務局となっています。申請用紙、詳細については同窓会ホームページをご覧下さい。

会報への投稿依頼

同期会、研究室同窓会、クラブ同窓会などの開催報告を投稿してください。300字程度で写真は電子版（JPEG）でお願いします。ホームページと会報に掲載しますが、紙面の制約で編集会議にて採用を決定します。

次に該当する会員は事務局までご連絡を

国会議員、市長村長、市議会等へ選出・再選された方。叙勲を授章された方。他大学で博士号を授与された方。逝去された会員等。

第三回医獣祭に同窓会ブースを開設

医獣祭期間の11月3・4日に同窓会会議室に同窓会ブースを開設しました。大学祭に訪れた方、同期会参加の方、前教職員などの方が立ち寄られ懐かしんだり、キャンパスの変貌に驚いたりしておりました。

同窓会関係情報

○訃報

福所　秋雄氏　前獣医保健看護学科主任（獣医18期）
2018年7月14日

大岩　隆氏　前理事、宮城県支部長（獣医3期）
2018年7月31日

本橋　博氏　前理事（獣医6期）
2018年9月4日

同窓会会員名簿を発刊

配布対象者は昨年度までの会費納入者で、配布希望者のみとなります。すでに配布対象会員にはご案内が届いていると思います。なお、申し込みの葉書の譲渡は無効となります。

新潟県支部総会報告

事務局　木田　伸一

２０１８年９月８日、22名の支部会員の参加の元総会が開催された。当日は中條同窓会長の特別講演により、母校や同窓会の近況を巡る大変興味深い話を伺えました。

宮城県支部総会報告

２０１８年８月５日中條会長に出席いただき支部総会が開催され、議案は原案通り承認されました。

茨城県支部総会及び懇親会報告

茨城県支部　事務局長　笠井　潔

茨城県支部では２０１８年９月１日（土）午後４時から笠間市　割烹　須藤魚店にて２０１８度支部総会及び懇親会を実施いたしました。

日本獣医生命科学大学同窓会　中條眞二郎会長にも出席を頂き盛大に開催することができました。

御協力ありがとうございました。

今後ともよろしくお願い致します。

兵庫県支部　総会・研修会　報告

毎年実施している支部総会・研修会を２０１８年９月８日～９日にかけて、兵庫県南端の南あわじ市「国民宿舎　慶野松原荘」で実施しました。

例年より参加者が少なかったのですが、阿久澤学長を囲み、和やかな総会・研修会となりました。

学長は、ご講演の中で「大学の現状と今後について」資料を基にビジョンを語られ、参加者全員は今後の益々の発展を祈りたい思いでありました。

獣医学科13期同期会を開催

幹事一同

２０１８年７月18日に15回目の13期会を開催した。阿久澤学長はじめ中條同窓会会長より母校の新しい情報をいただき感激いたしました。翌日は数名で動物医療センターを主体に案内をいただきました。先生方には大変お世話さまになりましたが、次回にも情報をご教授願います。

母校近況

教員人事　庶務課

（2018年6月19日から年11月30日まで）

○新任（2018年10月1日付）
准教授　味戸　忠春（産業動物臨床学）

○新任（2018年10月1日付）
講師　松田　寛子（農産食品学）

○昇任（2018年10月1日付）
教授　塚田　晃三（獣医病理学）

○昇任（2018年10月1日付）
准教授　森田　達志（獣医寄生虫学）

2019年度 日本獣医生命科学大学 入学試験の抜粋案内

入試課

2019年度日本獣医生命科学大学入学試験の今後の日程をご案内します。一般入学試験は全区分全学科で併願が可能です。出願期日の間近な試験日もあります。詳細については入試課〔電話：0422—31—4151（代）〕まで問い合わせてください。

入試種別	学部	学科	試験日	試験会場	選抜方法等	Web出願期間
特別選抜（学士）	獣医学部	獣医学科	【一次試験】2月5日（火） 【二次試験】※一次合格者のみ 2月16日（土）	本学	書類審査…「履歴書」・「志望理由書」・「成績証明書」等 面接…目的意識等についての口頭試問 小論文…400字以内／60分 学力試験（記述試験） 「英語」・「生命科学関連科目」…2科目／90分 ※一次試験（小論文・学力試験）合格者に二次試験（面接）を実施します。	1月4日(金)～1月24日(木)
センター試験利用（第1回）	獣医学部	獣医学科	1月19日（土） 1月20日（日）	センター試験指定各会場	国語（近代以降の文章のみ利用） 数学（数学Ⅰ・A） 理科（生物）または（化学） 外国語（英語（筆記））	1月4日(金)～1月18日(金)
		獣医保健看護学科			数学（数学Ⅰ・A） 理科（生物）または（化学） 外国語（英語（筆記））	
	応用生命科学部	動物科学科				
		食品科学科				
センター試験利用（第2回）	応用生命科学部	動物科学科	1月19日（土） 1月20日（日）	センター試験指定各会場	数学（数学Ⅰ・A） 理科（生物）または（化学） 外国語（英語（筆記））	2月13日(水)～2月21日(木)
		食品科学科				
一般（第1回）［センター試験併用方式］	獣医学部	獣医学科	2月5日（火） ※1月19日(土)・1月20日(日)のセンター試験を必ず受験してください	本学 大阪 福岡 仙台	センター試験英語（筆記）必須 センター試験数学（数学Ⅰ・A、数学Ⅱ・B）必須 生物（生物基礎・生物）化学（化学基礎・化学）から1科目選択	1月4日(金)～1月18日(金)
		獣医保健看護学科				
	応用生命科学部	動物科学科				
		食品科学科				
一般（第2回）［独自試験方式］	獣医学部	獣医学科	2月6日（水）	本学 大阪 福岡 仙台	英語（コミュニケーション英Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・英語表現Ⅰ）必須 数学（数学Ⅰ・Ⅱ・A・B）必須 生物（生物基礎・生物）化学（化学基礎・化学）から1科目選択	1月4日(金)～1月24日(木)
		獣医保健看護学科			英語（コミュニケーション英Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・英語表現Ⅰ）必須 数学（数学Ⅰ・Ⅱ・A・B）生物（生物基礎・生物） 化学（化学基礎・化学）から1科目選択	
	応用生命科学部	動物科学科			英語（コミュニケーション英Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・英語表現Ⅰ） 数学（数学Ⅰ・Ⅱ・A・B）生物（生物基礎・生物） 化学（化学基礎・化学）から2科目選択	
		食品科学科				
一般（第3回）［独自試験方式］	獣医学部	獣医学科	3月4日（月）	本学	英語（コミュニケーション英Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・英語表現Ⅰ）必須 数学（数学Ⅰ・Ⅱ・A・B）必須 生物（生物基礎・生物）化学（化学基礎・化学）から1科目選択	2月13日(水)～2月21日(木)
		獣医保健看護学科			英語（コミュニケーション英Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・英語表現Ⅰ）必須 数学（数学Ⅰ・Ⅱ・A・B）生物（生物基礎・生物） 化学（化学基礎・化学）から1科目選択	
	応用生命科学部	動物科学科			英語（コミュニケーション英Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・英語表現Ⅰ） 数学（数学Ⅰ・Ⅱ・A・B）生物（生物基礎・生物） 化学（化学基礎・化学）から2科目選択	
		食品科学科				

福所秋雄先生を偲ぶ会

青木博史

獣医保健看護学科初代学科主任の福所秋雄先生（享年72）を偲ぶ会が、11月25日に大手町サンケイプラザにおいて執り行われました。会には、農林水産省・家畜衛生関係者、動物ウイルス研究者、同窓会から中條眞二郎同窓会会長、本学から阿久澤良造学長、河上栄一獣医学部長、池本卯典元学長、獣医保健看護学科教員などが出席された。また、先生が立ち上げられた獣医保健看護学基礎部門微生物・感染症学分野等の卒業生約60名が駆けつけ、総勢１４５名による盛大な追悼式となりました。

福所秋雄先生は昭和45年（１９７０年）に日本獣医畜産大学をご卒業された後、北海道大学大学院獣医学研究科を経て農林水産省動物医薬品検査所および家畜衛生試験場（現農研機構 動物衛生研究部門）において約34年に亘って公務・研究にご尽力され、国内外でウイルス感染症、家畜衛生、動物用ワクチン等製造・品質確保などの領域で数多くの功績を残されました。その功労から、２０１８年7月14日付けで正五位・瑞宝小綬章を授章されており、偲ぶ会においてご家族の協力により賞状とバッジが披露されました。２００５年、動物衛生研究所の生物学的製剤センター長を最後に早期退職され、すぐ教授として母校に戻られ、獣医保健看護学科において獣医保健看護学概論や動物微生物学などの教鞭をとられるとともに、日本初の4年制の獣医保健看護学科の初代学科主任として高度化・国際化が進む獣医療の地位を上げるべく、獣医師とともにそれを支える獣医療技術者を養成する教育や組織作りに尽力されました。また、動物看護系大学連絡協議会を発起し、全国動物保健看護系大学協会に展開して国内の獣医保健看護学教育の統一化を図られるなど、本学獣医保健看護学科を先頭に据えた獣医保健看護系領域の立ち上げや発展に寄与されました。定年退職された後も客員教授として引き続き教壇に立たれ、また、研究室等でも学生達の実験等の指導にお力添えいただきました。

家畜衛生の発展、日本獣医生命科学大学の発展、獣医保健看護学科の礎を築かれた福所秋雄先生に深く感謝し、心よりご冥福をお祈りいたします。

２０１８年度　動物慰霊祭が挙行された

事務部庶務課

10月31日(水)12時30分より、第一校舎中庭の「仁畜之碑」前にて、２０１８年度動物慰霊祭が無宗教献花方式にてしめやかに執り行われた。

参加者全員で動物の霊を弔うための黙祷が行われた後、阿久澤学長から、「あらためて実験動物の役割とその貢献を認識し、犠牲となった多くの動物達に心から感謝の意を捧げたい」との追悼のことばが述べられた。

続いて、学生を代表して鈴木彩夏学友会会長から、「私達は動物と接するに当たり常に学生として学ぶ目的を明確に持ち続けるとともに、真摯な態度と感謝の気持ちを忘れず、善良な獣医師・動物看護師・生命科学者として育つことで動物の慰霊と報恩にかえさせていただきます」との哀悼の意が述べられた。

最後に、阿久澤学長、田﨑大学院獣医生命科学研究科長、河上獣医学部長、藤澤応用生命科学部長、藤田動物医療センター院長、吉村牧場長、袴田生命科学共同研究施設長、横須賀動物実験委員長、鈴木学友会会長の指名献花、教職員・学生等が学術の発展のため、教育・研究に貢献した数多くの動物に感謝の念を捧げ、付属医療センターで治癒することのなかった動物の御霊とともに、この1年間に亡くなったすべての動物に対して哀悼の意を捧げた。

会報53号学生表彰の訂正について

会報53号9頁、学生表彰の記載事項の一部に前年度の情報が提供され掲載されてしまいました。ここに表彰対象の学生の皆様に心からお詫びを申し上げます。改めて表彰学生一覧を掲載いたします。なお、同窓会ホームページにも訂正を掲載しています。

2017年度学生表彰

学長賞

獣医学科	6年	田中 菜都子	
獣医保健看護学科	4年	坪内 千春	
動物科学科	4年	樋口 香子	
食品科学科	4年	横井 七奈	

㈳日本獣医師会褒章

獣医学科	6年	紺谷 早紀	

同窓会長賞

獣医学科	6年	林 諒太郎	
獣医保健看護学科	4年	後迫 かほり	
動物科学科	4年	穂積 香瑠蘭	
食品科学科	4年	明石 幸	

武蔵野賞

獣医学科	2年	徳長 ゆり香	
獣医学科	2年	田原 果凛	
獣医学科	2年	鉄 治慶	
獣医学科	3年	梅木 雅子	
獣医学科	3年	佐藤 玲奈	
獣医学科	3年	菅野 光浩	
獣医学科	4年	江藤 由佳	
獣医学科	4年	遠藤 蓮太郎	
獣医学科	4年	河西 晴子	
獣医学科	5年	亀山 仁美	
獣医学科	5年	加藤 安美	
獣医学科	5年	上玉利 成美	
獣医学科	6年	柴 舞華	
獣医学科	6年	島野 翔太朗	
獣医学科	6年	伏居 南美	
獣医保健看護学科	2年	鈴木 遼太郎	
獣医保健看護学科	2年	石田 南	
獣医保健看護学科	2年	石田 悠華	
獣医保健看護学科	3年	丸山 夢翔	
獣医保健看護学科	3年	岩本 杏	
獣医保健看護学科	3年	松本 朱莉	
獣医保健看護学科	4年	赤堀 由起恵	
獣医保健看護学科	4年	木村 理花	
獣医保健看護学科	4年	目良 実知佳	
動物学科	2年	鈴木 円香	
動物学科	2年	服部 愛	
動物学科	2年	光野 沙木	
動物学科	3年	荻原 周子	
動物学科	3年	杉浦 麻世	
動物学科	3年	中浦 滉大	
動物学科	4年	市川 みのり	
動物学科	4年	梶野 晶	
食品科学科	4年	髙田 瑞希	
食品科学科	2年	浅田 ゆり	
食品科学科	2年	坂下 帆乃夏	
食品科学科	2年	澤田 楓	
食品科学科	3年	廣實 咲紀	
食品科学科	3年	根本 香穂	
食品科学科	3年	甲斐野 仁美	
食品科学科	4年	真弓 佳奈子	
食品科学科	4年	森 彩圭	
食品科学科	4年	水上 華代	

欅賞

馬術部
猛禽ボランティア
レクリエーション同好会

2018年度第3回医獣祭を開催

事務部学生支援課

2018年11月2日（金）～11月4日（日）に本学において、第3回医獣祭が開催された。日本医科大学との合同開催となってから3回目となった今回のテーマは「医食獣～みんなおいでよ医獣の森～」。「衣食住」の造語で、大学祭を開催するうえでは両大学はもちろん、模擬や展示、イベントなどどれも切り離せないものという意味が込められている。本年は最終日こそ小雨に見舞われる場面があったが、荒天になることはなく、初日は1、271名、2日目は2、904名、3日目は4、113名と多くの来場者となった。

お笑いライブや音楽系団体の合奏・演奏、体育系団体の演舞やパフォーマンス、ダンス系サークルのステージや研究室・クラブ・サークルの展示発表、毎年恒例のペットショーや牛乳早飲み大会、日本医科大学企画の救急救命体験などが催され、非常に盛り上がり有意義な3日間が終了した。

2018年度体育祭が開催された

事務部学生支援課

2018年10月10日（水）武蔵野市陸上競技場において、18年度体育祭が開催された。昨年度から引き続き、今回も日本医科大学1年次学生を交えた合同開催とし、部活動・研究室を中心としたチームを組み、総勢約300名の学生たちが、さまざまな種目で競い合った。騎馬戦、障害物競走にくわえ、綱引きや玉入れでは教職員チームが参加するなど、学生だけでなく大学全体で大いに盛り上がった。フィナーレのリレー決勝では大歓声の中熱戦が繰り広げられ、両大学の親交をより深めることのできた一日となった。

同窓会協賛「学内OBOG訪問会」開催報告

学生支援課　課長　清水謙一

2018年10月7日（日）14時~17時、学生支援課では、本学同窓会の協力を得て、「学内OBOG訪問会」という就職支援イベントを開催致しました。このイベントは、昨年初めて開催し好評につき2年連続の開催になりました。開会にあたりキャリア支援委員長の堀達也獣医学科教授、同窓会中條眞二郎会長にご挨拶をお願いしこの企画の趣旨・目的を参加学生にお伝え頂きました。

このイベントは、獣医学科・獣医保健看護学科・動物科学科・食品科学科4学科より卒業後5年前後の若い社会人を学内にお越し頂き、通常学外で行われる「OBOG訪問」を学内で実施しようというものです。OBOGの就職先は幅広く学生の志向に応えられるように4学科から2名ずつ計8名、また特別講演のため卒業生経営者の方にもご出席頂きました。今年は、特別講演に試薬培地市場でのリーディングカンパニーであるコージンバイオ（株）代表取締役社長の中村孝人様（畜産食品工学科21期）に協力を仰ぎ大変ためになる力強いお話をお聞かせ頂きました。

後半は、「生協むらさき」に場所を移し、カフェスタイルでリラックスムードの中、興味あるOBOGのテーブルで先輩達を取り囲んでいました。中には、「今日2時間かけて来ました」という1年生女子2人組がいて最後まで熱心に聴き耳を立てていました。

当日の午前中は「父母会主催就職活動説明会」が開催されていて、その午後も引き続き残られたご父母の方がご出席OBOGに積極的に質問している姿も拝見できました。

今回、OBOGの方々には御多忙の折にも係わらず、連休の合間の日曜日に母校のため貴重なお時間をご提供頂き、参加した学生にとって大変有意義な経験をさせて頂き感謝致します。次年度は、通常の就職ガイダンスの一角として枠を確保させて頂き、7月5日（金）17時から開催させて頂く計画をしております。より多くの就活学生と触れて頂き、諸先輩方の社会でのご活躍の姿・卒業生から見る本学の魅力をお伝え頂く場としたいと存じます。引続き同窓会諸先輩各位のご協力・ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

新年のご挨拶

日本獣医生命科学大学

学長　阿久澤　良造

2019年は、5月から元号が新たになる年でもあり、皆さまにおかれましては、格別な気持ちで新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。

2018年を振り返りますと、政治経済では、やはりアメリカ主導の世界各国への影響は続き、ますます内向きの保護主義的政権の台頭があり、移民、関税など問題が山積し、先の見えない状況にあり、経済面では、年初好調な発進を見せましたが、不安材料が出始めて、安定しない乱高下状況で推移しました。国内では倫理感を問われるような不正問題が

多方面で発覚し、大きなニュースとなりましたが、未だ解決を見ない混沌とした問題も多くあり残念です。科学技術の世界では、人工知能ＡＩが進化し続け、そのスピードは加速度的に速くなっています。ますます世代間格差が生まれ、アナログ的実感のない生活が当たり前になる世界がすぐそこまで来ていると実感します。自然環境に目を向ければ、毎年のように世界中で異常気象による被害が続出し、日本では、西日本豪雨、大阪北部地震、北海道胆振東部地震、大型台風の上陸など甚大な被害を受けました。これらの異常気象による影響については、自国だけの問題としてではなく地球全体で考える必要があり、世界各国は、外交努力によって国を超えて、叡智を出し合えるような環境整備を未来のためにも成し遂げて欲しいと願うばかりです。

さて、２０１９年の展望と共に２０１８年の大学での主な取り組みを振り返りますと、昨年度策定した中長期計画におけるビジョン達成に向け、新たな一歩を踏み出しました。重点施策を教育、研究、管理運営、社会貢献、産官学連携、動物医療センターの6領域、20項目に分類し、第1期中期計画として、目標に取り組み、これら施策への対応は、改組した事務組織を推進軸とする教職協働にて行っております。

「教育でつなぐミライ」として、特色ある教育と学生満足度の高い教育の実施にあたり、学校法人日本医科大学ＩＣＴ推進センターとの連携による学修支援システムを利用するなどによって各学科における特色ある質の高い教育へと推進されています。さらに各学科においては、それぞれの学士に相応しい基盤力、専門力が修得状況の可視化をはかるべく検討を進めております。大学院教育においては、学部教育と同様にe-Leaningコンテンツを社会人大学院生への拡充をはかっています。また、教育者としての能力育成を図るティーチングアシスタント（ＴＡ）制度に加え、次年度より若手研究者育成とともに経済的支援を目的とするリサーチアシスタント（ＲＡ）制度を導入し、さらなる大学院教育の充実、強化を図っているところです。

「研究でつなぐミライ」として、本学における研究ブランドとして、One Healthに貢献する「生命、食、環境」を繋ぐ研究拠点形成、つまり、人と動物が安心できる暮らしを目指しての事業を推進しているところです。また、この一環として、「ニチジュウシンポジウム２０１８」を開催しました。One Healthに貢献できる研究拠点づくりに相応しく大学院、学部の全分野より応募があり、学生、教員によって日頃の研究成果が発表されました。大学が培っている知の資源を継続的に発信し続けることが重要であると考えます。

また、質の高い研究と外部からの競争的資金獲得は、大学運営の基盤として不可欠な要素です。本年度の文部科学省研究費助成、受託・共同研究の総件数、金額は増加されており、益々活発な研究基盤が形成されつつあると考えます。

「学生支援でつなぐミライ」として、アットホームで豊かな心を培う学修環境を整えるために学生からの要望や学修行動調査に基づいたサービス体制の構築に取り組んでいます。学生を取り巻く社会状況や教育環境が変化するなかで本学学生の学修、生活全般にわたる行動や意識、実態を把握する必要性からＩＲ推進センター（現在ＩＲ推進委員会）によって、入学生、在学生、卒業生に対するアンケート調査を実施いたしました。在学生に対しては、授業、学修、生活全般、施設整備等多岐の内容にわたる学修行動調査を実施し、その結果、大学生活全般の満足度は7割強の学生が満足と回答し、概ね充実した学生生活を送っていることが判明した一方、授業や学習については、学科によって、カリキュラムや学習支援に対する評価に差異があり、今後の課題となりました。

「社会貢献・産官学連携」でつなぐミライとして、従前からの本学野生動物教育研究機構による群馬県や東京動物園協会などとの協定に基づく共同事業を推進しています。また、新たな連携事業として学生とともに酪農畜産生産について活発な事業を進めている「釧路丹頂農業協同組合」さらに、ニチジュウブランド商品の開発を目指した事業を「北海道チクレングループ」と進めており、その一部にインターンシップを導入した展開を模索しています。その他、民との連携、貢献として本学の多様な資源が、近隣市民の皆様とを繋ぐ有意義な交流の場にできればと考えております。

「動物医療センター」でつなぐミライとして、臨床教育の充実は、獣医療を発展させ、社会貢献にもつながります。センター全体としては、手狭な施設の拡充から運営に至るまで様々な問題が顕在していますが、医療・臨床教育に関わる獣医師、看護師の労働条件や環境の改善、医療・臨床研究に取り組める環境整備、診療、診断の効率化を図るなど努力しております。本年度は獣医師、看護師の増員、教員の補充、リニアックの更新、人工心肺装置導入に伴い心臓外科手術を開始するなど、臨床教育の充実にむけ活発に活動をしております。また、厳しい状況のなか医療センター関係者の理解のもと、土曜日の診療を開始し、社会の期待に応えようとしております。

その他、管理運営、施設整備、人事に関しては、事業計画として挙げ実行しつつあり、入試や大学全体の広報体制を整備し、本学の実態を広く周知すべく取り組み、また、施設整備では、危険な牛舎（実習施設）として懸案となっていた付属農場アニマルファームの肥育牛舎が、法人のご理解を得て、建替えが進んでおります。なお、残された老朽化施設が係る第一及び第二校地の土地、建物の再開発、再利用の計画策定への作業も開始し本学の発展に最も機能的かつ効率的に資することができる形での土地、建物へと整備できるよう検討をすすめて参ります。

同窓会報にご挨拶をさせていただく度に本学の一年を振り返る機会を得ることになり、一年一年の積み重ねが、大きな実りをもたらすために重要なことであることを実感しております。継続するなかで、新たな局面への柔軟な対応が、一歩前進に繋がることもあり、目標達成に向かってのアプローチの選択肢は一つではないと思います。学生・教職員の総力で本年も邁進していきたいと思っております。今後とも本学の発展のためにご尽力いただきますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、皆様とご家族のご健勝とご活躍を祈念し、新年のご挨拶とさせていただきます。